

# 令和4年度 一般財団法人松本市芸術文化振興財団 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 第1 財団運営の総括

### 1 会議の開催状況

年月日	名称	提出議案等
4.4.1	第1回理事会（書面決議）	・評議員会の招集について
4.1	第1回評議員会（書面決議）	・評議員、理事の選任について
6.3	第2回理事会	・令和3年度事業報告及び決算報告について ・評議員会の招集について
6.29	第2回評議員会	・令和3年度事業報告及び決算報告について ・任期満了に伴う理事の選任について
6.29	第3回理事会（書面決議）	・代表理事の再任について
12.23	評議員・理事・監事合同会議	・令和4年度中間事業報告について ・令和5年度事業概要について
5.3.8	第4回理事会（書面決議）	・令和4年度収支補正予算（第1号）について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・理事長への報酬について ・評議員会の招集について
3.24	第3回評議員会	・令和4年度収支補正予算（第1号）について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・理事長への報酬について

### 2 所管業務

令和4年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行いました。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場の提供により、文化芸術活動の推進に努めました。また、自主事業については、各施設の強みを生かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演や、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演等を幅広く行うことで、市民に親しまれる館運営を行いました。

また、国が令和2年5月に文化観光推進法を策定したことから、文化や芸術を地域の活性化や観光振興につなげていくという視点を持ちながら施設の運営を進めました。

### 3 財団の組織強化

#### (1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受けるとともに、職員のコンプライアンス意識の高揚とコスト意識向上を図るため、各種研修を実施しました。

事業の実施にあたっては、事業収入の向上や補助金等の活用により事業の拡充を図り、健全な運営を行いました。

#### (2) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成18年3月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図りました。

また、働き方改革など、各種労働関係法に適切に対応するため、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を行いました。

給与システムや退職金制度の導入、就業規則の見直しなど、財団の働き方改革を行い、職員のモチベーション向上を図りました。

#### (3) 連携強化

施設間のみならず、様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めました。

### 4 新型コロナウイルス感染症への対応

国や県のガイドライン等を遵守徹底し、次の対策を推奨かつ講じ、でき得る限り事業を行うことで、文化芸術振興を図るとともに市民の生活に潤いと豊かさをもたらすよう努めました。

#### (1) 感染防止の基本的対応

- ①人と人との距離の確保
- ②マスクの着用・咳エチケットの呼びかけ
- ③こまめな手洗い・手指消毒
- ④入場時の検温の実施
- ⑤入場者の連絡先の取得
- ⑥入場前の座席の消毒

#### (2) 三密の回避

- ①会議室・練習室の定期的な換気の呼びかけ
- ②入場時等の間隔の確保
- ③会話を控えることの呼びかけ

## 5 職員体制

令和5年3月31日現在

単位：人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1	一般事務		3
	財団							一般事務	2	2
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	2	主事	1	4
	財団							一般事務 売店事務	1 1	2
	計				1		2		3	6
梓川アカデミア館	市職			館長 (美術館副館長兼務)	(1)	館長補佐 (美術館課長補佐)	(2)	主事 (美術館主事)	(1)	
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
音楽文化ホール	財団	館長	1			館長補佐 プロデューサー	1	一般事務 企画制作  オルガニスト	5 2  1	10
	計		1				1		8	10
市民芸術館	市職			支配人 (事務長兼務)	1	係長	1			2
	財団	総監督	1			プロデューサー 舞台技術部長	1 1	一般事務 企画制作  舞台技術	5 6  7	21
	計		1		1		3		18	23
波田文化センター	市職			館長 (芸術館支配人兼務)	(1)					
	財団					係長 (企画制作事務)	1	一般事務  舞台技術	1  1	3
	計						1		2	3
合計	市職		1		3		4		1	9
	財団		2		0		4		34	40
	計		3		3		8		35	49

## 第2 各施設の事業報告

### 1 松本市美術館

#### 活動の概要

#### 1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識して、法令を遵守するとともに、利用者サービス向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
  - 《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。
  - 《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。
  - 《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくります。
  - 《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

#### 2 令和4年度の重点的な取り組みの成果

- (1) 来館者サービス・施設管理業務
  - お客さまが気持ちよく施設を利用することができるよう、ホスピタリティ（おもてなし）や利便性の向上に努め、次の業務を行いました。
    - ア キャッシュレス決済端末の導入
    - イ オンラインチケットの導入
- (2) ミュージアムショップ運営業務
  - 常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、展覧会、イベント等に連動した企画・販売や、所蔵品、所蔵作家や地域をテーマとした企画・販売を行い、1億円以上の売り上げを達成しました。
- (3) 環境整備
  - 施設の適正な維持保全を通じて、来館者の満足に結びつく環境づくりに努めました。
  - また、災害時の避難誘導體制等の強化として、地震の発生を想定した避難訓練を行いました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図りリピート利用の促進に努めました。（アンケート回答者：345人）
- (2) 美術館ホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう工夫しました。

## 施設利用状況

1 観覧者数 開館日数298日(4月1日～20日まで休館。3年度は大規模改修のため休館)

施設		4年度	3年度	前年度対比	
				増減	増減率
有料	個人(人)	135,077	—	135,077	0.0%
	団体(人)	1,844	—	1,844	0.0%
	計(人)	136,921	—	136,921	0.0%
無料(人)		31,153	—	31,153	0.0%
合計		168,074	—	168,074	0.0%

2 施設別利用状況

施設		4年度	3年度	前年度対比	
				増減	増減率
市民ギャラリー	利用日数(日)	252	—	252	0.0%
	利用可能日数(日)	298	—	298	0.0%
	利用率(%)	84.6%	—	84.6%	0%
講座・演習室	利用日数(日)	106	—	106	0.0%
	利用可能日数(日)	298	—	298	0.0%
	利用率(%)	35.6%	—	35.6%	0%
多目的ホール	利用日数(日)	91	—	91	0.0%
	利用可能日数(日)	298	—	298	0.0%
	利用率(%)	30.5%	—	30.5%	0%

3 施設利用者数

	4年度		3年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
市民ギャラリー等(人)	229	54,784	—	—	229	54,784	0.0%
講座・講演会・コンサート等(人)	54	6,013	—	—	54	6,013	0.0%
合計	283	60,797	—	—	283	60,797	0.0%

4 利用料金収入【参考】

	4年度	3年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	4,069,770	—	4,069,770	0.0%
合計	4,069,770	—	4,069,770	0.0%

## 2 松本市梓川アカデミア館

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

#### 2 令和4年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設利用者の満足度向上を目指し、親切・丁寧・素早い対応を心がけました。
- (3) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、館内外の美化につとめました。
- (4) 4年度は新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、年間8つのワークショップ・講座を実施し、教育普及事業の充実を図りました。  
前年度中止となったウィンターコンサートを開催し、地域の方々に演奏を楽しんでいただきました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 貸室の利用促進に向け松本市美術館との連携を図りました。
- (2) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は美術愛好家の皆さんの発表の場として定着し、4年度は10件利用がありました。
- (3) 地域の解説ボランティア7名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで交流促進、高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (4) 幅広い年齢層を対象に開催したワークショップでは、伝統文化や、専門的な知識・技術を学び、美術・施設に関心を持っていただける機会づくりとなりました。
- (5) 広報誌「アカデミア館便り」を発行し、主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信等、より効果的な周知に努めました。

## 施設利用状況

### 1 観覧者数 開館日数日308（3年度299日）

施設		4年度	3年度	前年度対比	
				増減	増減率
常設 展 <small>コレクション展</small>	有料（人）	1,466	661	805	121.8%
	無料（人）	1,409	2,552	-1,143	-44.8%
	計（人）	2,875	3,213	-338	-10.5%
企画展（人）		2,176	1,796	380	21.2%
合計		5,051	5,009	42	0.8%

### 2 施設別利用状況

施設		4年度	3年度	前年度対比	
				増減	増減率
ギャラリー	利用日数（日）	192	153	39	25.5%
	利用可能日数（日）	308	299	9	3.0%
	利用率（%）	62.3%	51.2%	11.2ポイント	
第2ギャラリー	利用日数（日）	215	162	53	32.7%
	利用可能日数（日）	308	299	9	3.0%
	利用率（%）	69.8%	54.2%	15.6ポイント	
アクセス ギャラリー	利用日数（日）	138	163	△25	-15.3%
	利用可能日数（日）	308	299	9	3.0%
	利用率（%）	44.8%	54.5%	△9.7ポイント	
屋外施設	利用日数（日）	0	0	0	0.0%
	利用可能日数（日）	308	299	9	3.0%
	利用率（%）	0.0%	0.0%	0.0ポイント	

### 3 施設利用者数

	4年度		3年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
ギャラリー・第2ギャラリー	38	11,337	38	9,523	0	1,814	19.0%
アクセスギャラリー	10	6,901	12	8,802	△2	△1,901	-21.6%
屋外施設	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	48	18,238	50	18,325	-2	△87	-0.5%

### 4 利用料金収入【参考】

	4年度	3年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	693,890	728,016	△34,126	-4.7%
合計	693,890	728,016	△34,126	-4.7%

### 3 松本市音楽文化ホール

#### 活動の概要

#### 1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で、活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や、積極的な育成援助を行います。

#### 2 令和4年度の重点的な取組みの成果

- (1) 優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、国内外の最高のクオリティの演奏家を招き、市民の音楽経験を豊かなものとするべく事業を企画しました。コロナ禍の影響が続く中ではあったものの、海外招聘も含めて発表していた公演をすべて実施でき、「THE 鍵盤フェスタ!」や「ザ・ハーモニー・フェスティバル」など市民参加型事業も再開しました。
- (2) サイトウ・キネン・オーケストラ、新人演奏会等、松本市および音楽文化ホールが培ってきた音楽的財産を生かし、さらなる発展を図る企画に力を入れました。
- (3) オルガン・チェンバロなどホール所蔵の楽器に市民に広く親しんでいただくための演奏会・講習会を行いました。また、ポジティブオルガンを活用したアウトリーチを実施しました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、国・県及び市から提示されたガイドラインや各音楽団体より出されたガイドラインを基に、当館に則したチェックリストや利用案内を作成し、安心して利用してもらえる施設運営を心掛けました。  
また、各利用者にあった感染予防対策の案内ができるよう、打ち合わせも継続しました。
- (2) 公演ごとにU-25や学生割引チケットの価格を柔軟に設定し、より幅広い層がコンサートへ足を運べるよう努めました。
- (3) facebook、TwitterなどのSNSを活用しつつ、新聞・雑誌等の広告掲載を拡充しました。  
また、ハーモニーメイトと協力して発行する情報誌「ハーモニー」に利用者・利用団体へのインタビューを掲載し、主催事業と貸館事業両方の広報効果を高めました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		4年度	3年度	前年度対比	
				増減	増減率
メインホール	利用日数（日）	270	243	27	11.1%
	利用可能日数（日）	292	286	6	2.1%
	利用率（%）	92.5%	85.0%	7.5ポイント	
小ホール	利用日数（日）	280	246	34	13.8%
	利用可能日数（日）	295	294	1	0.3%
	利用率（%）	94.9%	83.7%	11.2ポイント	
練習室	利用日数（日）	248	234	14	6.0%
	利用可能日数（日）	298	294	4	1.4%
	利用率（%）	83.2%	79.6%	3.6ポイント	

## 2 来館者数

	4年度		3年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
メインホール	676	33,547	339	15,933	337	17,614	110.6%
小ホール	707	12,689	359	7,910	348	4,779	60.4%
練習室	1,463	7,232	666	4,287	797	2,945	68.7%
合計	2,846	53,468	1,364	28,130	1,482	25,338	90.1%

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	19,600 千円
----	--------	-----------

	4年度	3年度	前年度対比	
			増減	増減率
ホール利用料	5,933,435	4,376,445	1,556,990	35.6%
練習室利用料	1,708,515	1,453,140	255,375	17.6%
設備利用料	8,910,500	6,452,050	2,458,450	38.1%
合計	16,552,450	12,281,635	4,270,815	34.8%

## 4 まつもと市民芸術館

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

#### 2 令和4年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本からの文化発信力をさらに高めるため、創造・発信型事業『スカパン』『博士の愛した数式』で県外ツアーを実施しました。
- (2) (1)とは反対に、芸術館の特性を生かした『空中キャバレー』は、他会場では上演不可能な作品のため、県外客の集客を目標としていましたが、舞台と観客が一体となることができないコロナ禍のため、上演を中止し、地元の俳優や音楽家とコラボレーションする作品へと変更しました。
- (3) コロナ禍で芸術鑑賞の機会が喪失した子どもたち向けの作品に注力し、多くの観客を呼び込みました。
- (4) 幅広いジャンルのバラエティに富んだ作品を提供するとともに、事前レクチャーや市民参加型ワークショップも充実させました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 前年度に引き続き、大型公演等の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底していることを積極的に周知したため、観覧キャンセルの希望は少ない状況でした。  
また、中止となった『空中キャバレー』の代替公演として『バッタの夕食会』を上演したほか、『笑いの大学』の追加公演、応募者多数のバックステージツアーの回数増などにより、観覧機会等の確保に努めました。
- (2) 旧レストランエリアをオープンスペースとし、日常的に市民が自由に利用できる場として家具を配置し、小ホールのホワイエやイベントスペースとしても活用できるよう整備しました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		4年度	3年度	前年度対比		
				増減	増減率	
主ホール	利用日数	自主事業	78	70	8	11.4%
		貸館（市主催）	30	7	23	328.6%
		貸館（一般）	113	100	13	13.0%
	利用日数計（日）		218	177	41	23.2%
	利用可能日数（日）		271	264	7	2.7%
	利用率（%）		80.4%	67.0%	13.4ポイント	
小ホール	利用日数	自主事業	69	75	△6	-8.0%
		貸館（市主催）	10	7	3	42.9%
		貸館（一般）	134	118	16	13.6%
	利用日数計（日）		213	200	13	6.5%
	利用可能日数（日）		281	292	△11	-3.8%
	利用率（%）		75.8%	68.5%	7.3ポイント	
オープンスタジオ	利用日数	自主事業	96	195	△99	-50.8%
		貸館（市主催）	38	0	38	380.0%
		貸館（一般）	67	55	12	21.8%
	利用日数計（日）		203	220	△17	-7.7%
	利用可能日数（日）		290	308	△18	-5.8%
	利用率（%）		70.0%	71.4%	△1.4ポイント	
スタジオ2	利用日数	自主事業	108	192	△84	-43.8%
		貸館（市主催）	0	1	△1	-100.0%
		貸館（一般）	44	39	5	12.8%
	利用日数計（日）		160	232	△72	-31.0%
	利用可能日数（日）		290	321	△31	-9.7%
	利用率（%）		55.2%	72.3%	△17.1ポイント	
スタジオ3	利用日数	自主事業	66	90	△24	-26.7%
		貸館（市主催）	29	1	28	2800.0%
		貸館（一般）	62	92	△30	-32.6%
	利用日数計（日）		156	183	△27	-14.8%
	利用可能日数（日）		291	294	△3	-1.0%
	利用率（%）		53.6%	62.2%	△8.6ポイント	
スタジオ4	利用日数	自主事業	60	77	△17	-22.1%
		貸館（市主催）	29	0	29	290.0%
		貸館（一般）	36	70	△34	-48.6%
	利用日数計（日）		121	147	△26	-17.7%
	利用可能日数（日）		288	298	△10	-3.4%
	利用率（%）		42.0%	49.3%	△7.3ポイント	
M2会議室	利用日数	自主事業	44	70	△26	-37.1%
		貸館（市主催）	31	2	29	1450.0%
		貸館（一般）	60	70	△10	-14.3%
	利用日数計（日）		149	142	7	4.9%
	利用可能日数（日）		308	304	4	1.3%
	利用率（%）		48.4%	46.7%	1.7ポイント	

## 2 来館者数

			4年度		3年度		前年度対比		
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
主ホール	音楽系	クラシック	6	29,515	8	24,143	△ 2	5,372	22.3%
		ポピュラー	19		25		△ 6		
		邦楽	3		1		2		
		その他	1		0		1		
		オペラ	5		3		2		
	芸能系	ミュージカル	8	9	△ 1	△ 10,463	-26.1%		
		演劇	33	26	7				
		古典芸能	3	9	△ 6				
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	7	2,652	6	2,570	1	82	3.2%
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	48	19,183	41	19,725	7	△ 542	-2.7%
計		133	80,906	128	86,457	5	△ 5,551	-6.4%	
小ホール	音楽系	クラシック	15	3,974	15	3,274	0	700	21.4%
		ポピュラー	11		12		△ 1		
		邦楽	4		2		2		
		その他	4		0		4		
	芸能系	演劇	25	19	6	2,509	0	1,157	46.1%
		古典芸能	3	3					
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	6	598	5	572	1	26	4.5%
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	124	6,626	143	5,286	△ 19	1,340	25.3%
計		192	14,864	199	11,641	△ 7	3,223	27.7%	
スタジオ・会議室			-	9,122	-	9,124	-	△ 2	0.0%
見学他			-	54,878	-	55,371	-	△ 493	-0.9%
合計			325	159,770	327	162,593	△ 2	△ 2,823	-1.7%

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	23,000 千円
----	--------	-----------

	4年度	3年度	前年度対比	
			増減	増減率
利用料金	29,051,410	32,592,310	△ 3,540,900	-10.9%
合計	29,051,410	32,592,310	△ 3,540,900	-10.9%

## 5 松本市波田文化センター

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切に、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

#### 2 令和4年度の重点的な取組みの成果

##### (1) 自主事業

コロナの影響で中止になった事業もあり、臨機応変に映画上映を増やして対応しました。作品も海外映画からサッカーの信州ダービーを扱ったものなど幅広く上映しました。

また、35mmで古い名作を鑑賞する上映会は予想以上に好評で、はた映画上映会の新規の顧客の獲得にもつながりました。

##### (2) 地域や他団体との共同

コロナの感染状況が子ども中心に広がっていたことから、今年度のアウトリーチを行うことが出来ませんでした。共催事業の「夏休みの映画館」では生演奏なども交えて子ども達に映画を楽しんでもらうことができました。

##### (3) 継続している事業

ピアノを一般の方に開放するイベントは、参加者のアンケート結果から時間を延長し、開催日も増やして行いました。今後もお客さんの声を聞き、より楽しんでいただけるように柔軟に対応して参ります。

#### 3 利用促進対策の成果

##### (1) 貸館

コロナの感染拡大予防を第一に、非接触型体温計の貸出、消毒液の設置、事前説明など丁寧に行いました。打ち合わせも希望に応じて電話やメールで行い、その上で感染状況が原因の変更やキャンセルにも柔軟に対応しました。

利用目的や人数なども含め、相談しながら安心安全にご利用いただけるよう心掛けました。

##### (2) 利用者アンケート

コロナの感染拡大予防の観点から中止していた自主事業のアンケートは2月から再び取るようにしました。また、貸館利用者には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に取り組みました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		令和4年度	令和3年度	前年度対比	
				増減	増減率
アクトホール	利用日数（日）	85	52	33	63.5%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	29.9%	18.3%	11.6ポイント	
練習室	利用日数（日）	154	137	17	12.4%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	54.2%	48.2%	6.0ポイント	
第1会議室	利用日数（日）	35	25	10	40.0%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	12.3%	8.8%	3.5ポイント	
第2会議室	利用日数（日）	36	32	4	12.5%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	12.7%	11.3%	1.4ポイント	
第3会議室	利用日数（日）	161	142	19	13.4%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	56.7%	50.0%	6.7ポイント	
ハイビジョンシアター	利用日数（日）	6	7	△1	-14.3%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	2.1%	2.5%	△0.4ポイント	
展望室	利用日数（日）	20	3	17	566.7%
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	7.0%	1.1%	5.9ポイント	
ギャラリー	利用日数（日）	235	0	235	
	利用可能日数（日）	284	284	0	0.0%
	利用率（%）	82.7%	0.0%	82.7ポイント	

## 2 来館者数

	令和4年度		令和3年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
アクトホール	93	6,807	57	3,413	36	3,394	99.4%
練習室	178	1,298	164	911	14	387	42.5%
第1会議室	35	324	25	220	10	104	47.3%
第2会議室	36	213	32	184	4	29	15.8%
第3会議室	162	1,375	143	1,226	19	149	12%
ハイビジョンシアター	6	64	6	102	0	△38	-37.3%
展望室	20	33	3	11	17	22	
ギャラリー	1	1,430	0	0	1	1,430	
合計	531	11,544	430	6,067	101	5,477	90.3%

☆ギャラリーは申込者は1団体で月替わりで使用しているの一応1件にしました

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	5,780 千円
----	--------	----------

	令和4年度	令和3年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設利用料	882,952	603,879	279,073	46.2%
設備利用料	1,706,450	1,070,010	636,440	59.5%
合計	2,589,402	1,673,889	915,513	54.7%